

Weekly Global Economy

米国 今週発表予定の経済指標等の見通し

発表日：2007年2月12日(月)

～バーナンキFRB議長の議会証言の基調は1月31日の声明文と同様のものに～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

当面の経済指標等の予測

日時(日本時間)		単位	予測	コンセンサス	前月
2/13 4:00	1月 月次財政収支	10億ドル	40.0	40.0	21.0
2/13 22:30	12月 貿易収支	10億ドル	-59.6	-59.7	-58.2
2/14 0:00	2月 IBD/TIPP景気楽観指数		55.2	--	53.7
2/14 7:00	週間 ABC消費者信頼感指数		-1.0	--	-1.0
2/14 21:00	週間 MBA住宅ローン申請指数		0.1%	--	-0.2%
2/14 22:30	1月 小売売上高	前月比	0.4%	0.3%	0.9%
2/14 22:30	1月 小売売上高(除自動車)	前月比	0.5%	0.4%	1.0%
2/15 0:00	バーナンキFRB議長が上院銀行委員会で証言				
2/15 0:00	12月 企業在庫	前月比	0.0%	0.1%	0.4%
2/15 22:30	週間 新規失業保険申請件数	千件	325	312	311
2/15 22:30	週間 失業保険継続受給者数	千件	2495	--	2490
2/15 22:30	1月 輸入物価指数(前月比)	前月比	-0.7%	-1.0%	1.1%
2/15 22:30	2月 NY連銀製造業景気指数	%	7.5	10.0	9.1
2/15 23:00	セントルイス連銀総裁がネブラスカ州で講演				
2/15 23:00	1月 対米証券投資(ネット)	10億ドル	59.3	60.0	68.4
2/15 23:15	1月 鉱工業生産	前月比	0.0%	0.0%	0.4%
2/15 23:15	1月 設備稼働率	%	81.7%	81.7%	81.8%
2/16 0:00	バーナンキFRB議長が下院金融サービス委員会で証言				
2/16 2:00	2月 フィアデルフィア連銀製造業景況指数	%	2.5	4.1	8.3
2/16 3:00	2月 NAHB住宅市場指数		36.0	35.0	35.0
2/16 22:30	1月 生産者物価指数(前月比)	前月比	-0.4%	-0.5%	0.9%
2/16 22:30	1月 PPI(除食品&エネルギー/前月比)	前月比	0.2%	0.2%	0.2%
2/16 22:30	1月 住宅着工件数	千戸	1605	1600	1642
2/16 22:30	1月 建設許可件数	千戸	1590	1590	1596
2/17 0:00	2月 ミシガン大学消費者センチメント		97.4	96.5	96.9
2/17 3:30	シカゴ連銀総裁がシカゴで講演				

(出所) コンセンサスはBloomberg調べ、予測は筆者。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

●2月12日（月）

・1月の財政収支は企業収益の拡大を背景とした法人税と、雇用・所得の拡大による所得税収の増加が予想され、400億ドル程度の黒字が見込まれる。

●2月13日（火）

・12月の貿易収支は▲596億ドルの赤字が予想される。輸出の拡大ペースが鈍化する一方、需要の堅調さによる在庫の減少から輸入の増加が見込まれる。

・2月のIBD/TIPP景気楽観度指数は、足元での良好な経済指標を受け1月から改善が見込まれる。

・先週のABC消費者信頼感 はガソリン価格の上昇により小幅低下が予想されるが、水準が高く消費への影響は限定的。

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods		
06/04	▲634.26	▲695.68	+61.42	+0.1	(+10.2)	▲0.6	+0.8	(+10.6)	+0.9
06/05	▲651.68	▲710.17	+58.49	+2.2	(+12.6)	+2.7	+2.4	(+13.4)	+2.4
06/06	▲645.19	▲700.13	+54.94	+2.3	(+14.5)	+3.4	+1.1	(+13.0)	+1.2
06/07	▲675.36	▲734.50	+59.14	▲1.1	(+12.6)	▲1.7	+0.9	(+13.9)	+1.2
06/08	▲685.23	▲748.68	+63.45	+2.3	(+13.7)	+3.0	+2.0	(+14.7)	+2.5
06/09	▲642.59	▲702.94	+60.35	+0.5	(+16.0)	+0.6	▲1.9	(+9.5)	▲2.5
06/10	▲588.04	▲650.27	+62.23	+0.3	(+13.9)	▲0.1	▲2.7	(+4.2)	▲3.4
06/11	▲582.33	▲646.99	+64.66	+0.9	(+13.4)	+0.7	+0.3	(+5.2)	+0.2

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出					輸入				
	産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		産業資材	資本財	自動車	消費財	
06/05	+2.8	+3.2	+2.3	▲1.3	+5.1	+2.4	+7.9	+0.5	▲2.4	+0.6
06/06	+3.3	+3.3	+2.7	+4.9	+1.8	+1.2	▲1.3	▲0.1	+6.2	+3.2
06/07	▲1.5	▲2.6	▲3.8	+7.2	+1.2	+1.2	+4.1	+2.1	▲5.7	+0.3
06/08	+3.1	+2.3	+3.8	▲1.4	+2.1	+2.5	+3.1	+2.7	+2.2	+1.5
06/09	+0.7	+4.2	+2.0	▲7.1	▲3.2	▲2.4	▲6.4	▲1.5	▲1.7	+1.7
06/10	▲0.1	▲1.7	+0.1	▲0.7	+3.7	▲3.4	▲10.3	▲0.8	▲1.4	+0.5
06/11	+1.0	▲1.1	+1.9	+3.7	+1.4	+0.2	▲2.1	+0.9	+1.5	+2.3

(注) 季調済前月比伸び率。

*1: Industrial supplies and materials

*2: Capital goods, except automotives

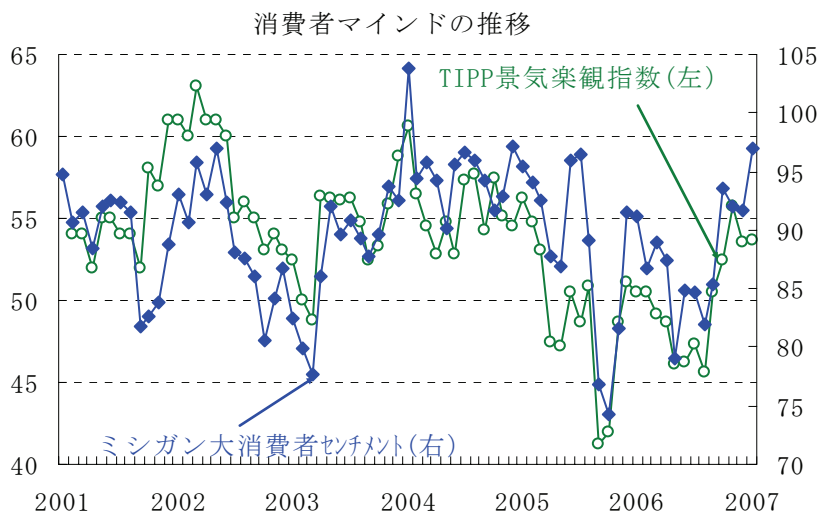
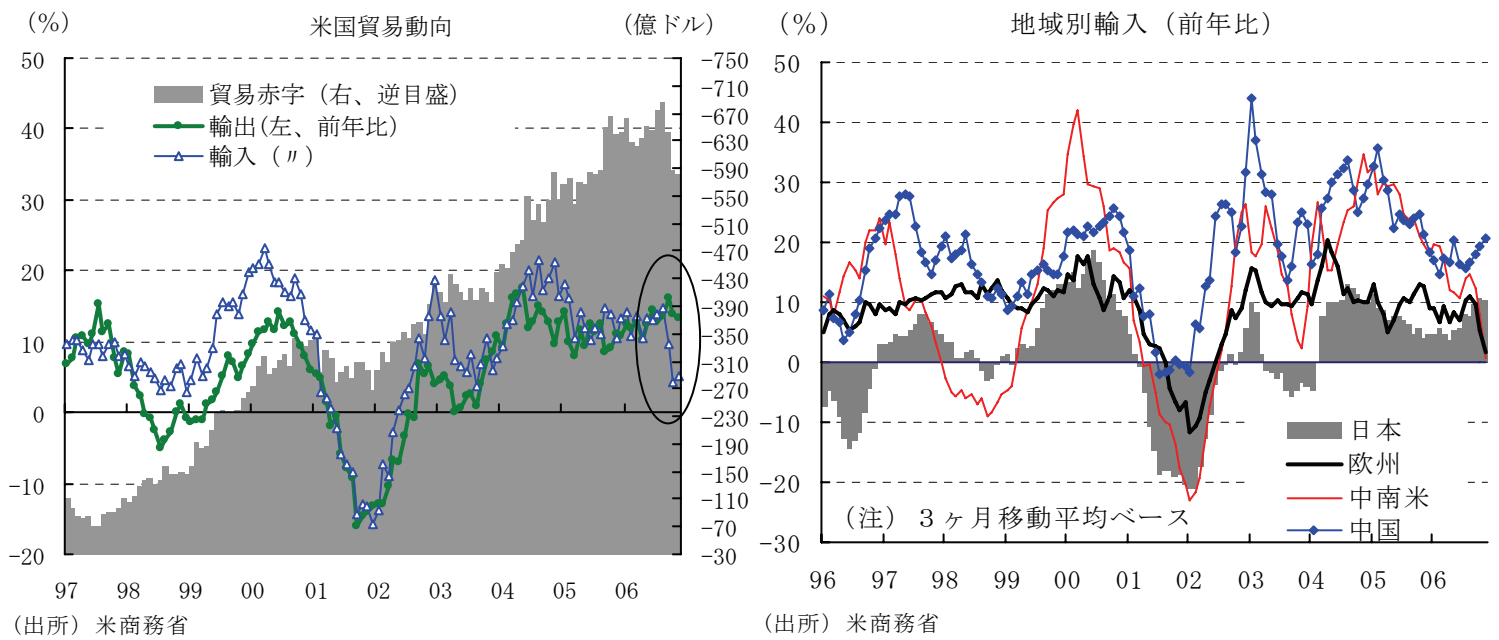
*3: Automotives vehicles, parts and engines

*4: Consumer goods, except automotives

	輸出					輸入						
	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本		
06/05	+15.5	+11.9	+15.8	+14.5	+17.6	+15.9	+16.6	+12.1	+17.9	+9.3	+13.6	+11.1
06/06	+16.2	+11.7	+16.4	+23.2	+15.5	+7.1	+13.4	+11.1	+16.0	+7.0	+9.3	+3.1
06/07	+13.5	+12.9	+16.1	+11.3	+14.4	+3.9	+15.4	+6.9	+18.9	+14.4	+13.1	+10.1
06/08	+15.5	+11.1	+15.1	+21.4	+10.4	+3.1	+14.5	+5.2	+19.4	+11.9	+14.7	+9.7
06/09	+18.9	+4.8	+16.4	+25.1	+21.8	+15.4	+8.4	▲3.9	+11.0	+2.0	+13.4	+9.3
06/10	+16.2	+6.4	+20.2	+18.5	+13.8	+12.4	+5.3	▲8.3	+7.9	+2.0	+13.7	+12.8
06/11	+15.7	+5.8	+17.0	+14.6	+20.0	+9.6	+4.3	▲5.6	+4.7	+1.4	+13.7	+8.6

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む（原統計の「中南米」は含まない）。



● 2月14日 (水)

- **MBA住宅ローン申請件数**は住宅購入用ローン申請の拡大によって前週比増加が予想される。
- **1月の小売売上高**は前月比+0.4%、自動車を除く小売売上高は前月比+0.5%が見込まれる。自動車販売が前月並みを維持するなか、ギフトガードの使用、気温の低下を受けた冬物衣料の販売増加、雇用・所得の拡大、株高等を背景に堅調さ維持。
- **12月企業在庫**は前月比+0.0%にとどまろう。卸売業の在庫が減少に転じ、製造業の在庫増加ペースが鈍化したこと、小売も販売が堅調だったことから横ばいにとどまろう。10~12月期実質GDPの下方改定要因となる可能性がある。
- **バーナンキFRB議長が上院銀行住宅都市委員会で証言**

1月31日のFOMC声明文での景気・インフレ判断、見通しと同様の見方が示されると予想される。「現在の経済情勢では、経済成長の幾らかの強まりとインフレの落ち着きが示されていること、先行きも景気が緩やかな拡大を続けインフレは時間とともにさらに落ち着くと見込まれる」。インフレに対するリスクも同様に示されるが、市場は既

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

に織り込んでいられることから、議会証言の市場へのインパクトは限定的なものにとどまろう。2007年の見通し（中央予測帯）では前回から成長率が下方修正される見込み。

- 1月31日の声明文では、現在の景気判断が上方修正された一方、物価判断は前回から下方修正された。
- 景気について

“最近の経済指標は経済成長の幾らかの強まりを示唆している。そして、住宅市場では安定化の暫定的なサインがみられる。今後数四半期に経済は全般に緩やかなペースで拡大するようにみられる”と12月の住宅着工件数、新築住宅販売の増加などの経済指標を受け住宅市場が下げ止まった可能性があるとして評価した。さらに、1月に発表された経済指標（ISM製造業景気指数、雇用統計、小売売上高、耐久財受注、住宅着工件数）が景気の拡大ペース加速を示したとし、景気判断を上方修正した。今後は数四半期緩やかな拡大が続くとの見方を示しており、このまま景気が加速していくとFRBは予想していない。

- 物価について

“最近数ヶ月コアインフレは緩やかに改善している。インフレ圧力は時間とともに落ち着くとみられる”と最近のコアインフレ統計の落ち着きを受け、現在の物価判断を下方修正した。先行きさらに落ち着くと予想していることが示された。一方で、“しかしながら、高水準にある資源利用によってインフレ圧力が持続する可能性がある”と低い失業率、高い稼働率に対する警戒も示した。

先行きの金融政策についての声明文は全く変更されなかった。インフレリスクが残存しているため、今後入手される情報次第で追加の利上げの可能性あることを引き続き示唆。

- 先行きの金融政策については今回“それにもかかわらず、委員会はインフレリスクが一部残存すると判断した。こうしたリスクを是正するため、追加的な引き締めが必要となるかもしれないが、その程度と時期については、これから明らかになる情報に基づくインフレと経済の見通しの変化に依存する”と、前回と全く同じ文言でインフレリスクの残存について指摘しており、FOMCは引き続きインフレが鈍化しないリスクを警戒していると考えられる。

FOMCの予測値

	(%)							
	2006年				2007年			
	予測レンジ		中央予測帯		予測レンジ		中央予測帯	
	前回		前回		前回		前回	
名目GDP	5.25~6.50	5.25~6.50	6.00~6.25	5.50~6.00	4.75~6.00	5.00~6.00	5.00~5.50	5.00~5.75
実質GDP	3.00~3.75	3.25~4.00	3.25~3.50	約3.50	2.50~3.25	3.00~4.00	3.00~3.25	3.00~3.5
デフレーター	2.25~3.00	1.75~2.50	2.25~2.5	約2.00	2.00~2.25	1.75~2.00	2.00~2.25	1.75~2.00
失業率	4.50~5.00	4.50~5.00	4.75~5.00	4.75~5.00	4.25~5.25	4.50~5.00	4.75~5.00	4.75~5.00

(注) GDP、個人消費デフレーターは、10~12月期の前年同期比伸び率。
失業率は10~12月期の平均値。

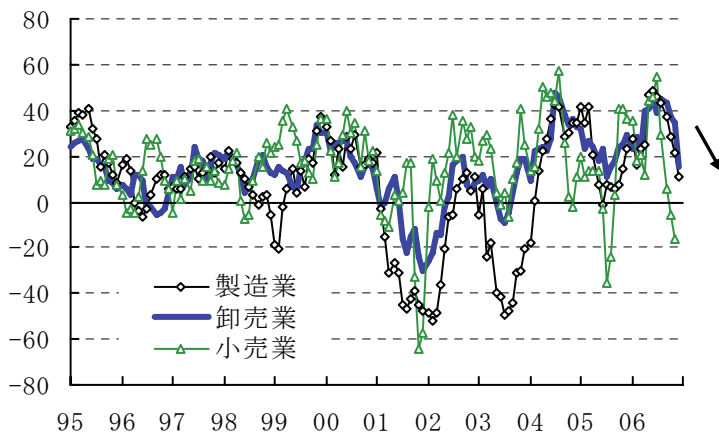
企業在庫 (Manufacturing and Trade Inventories and sales)

	企業在庫			企業売上	在庫率				
	Inventories	製造業 Manufacturers	小売業 Retailers		Sales	Inventories/ Sales Ratio	製造業	小売業	卸売業
06/04	+1.1	+0.7	+1.6	+0.9	+1.6	1.253	1.152	1.478	1.152
06/05	+0.9	+0.9	+0.9	+0.8	+0.2	1.262	1.164	1.499	1.148
06/06	+0.7	+0.8	+0.4	+0.9	+0.5	1.263	1.175	1.483	1.152
06/07	+0.7	+0.6	+0.3	+1.3	+0.5	1.265	1.172	1.489	1.158
06/08	+0.3	+0.6	▲0.3	+0.7	▲2.3	1.299	1.231	1.495	1.183
06/09	+0.2	+0.3	▲0.2	+0.4	▲0.2	1.303	1.234	1.496	1.193
06/10	+0.2	+0.3	▲0.2	+0.4	▲0.2	1.303	1.234	1.496	1.193
06/11	+0.3	+0.2	▲0.3	+1.1	+0.6	1.300	1.234	1.484	1.195
06/12	#N/A	+0.1	#N/A	▲0.5	+1.3	#N/A	1.218	#N/A	1.168

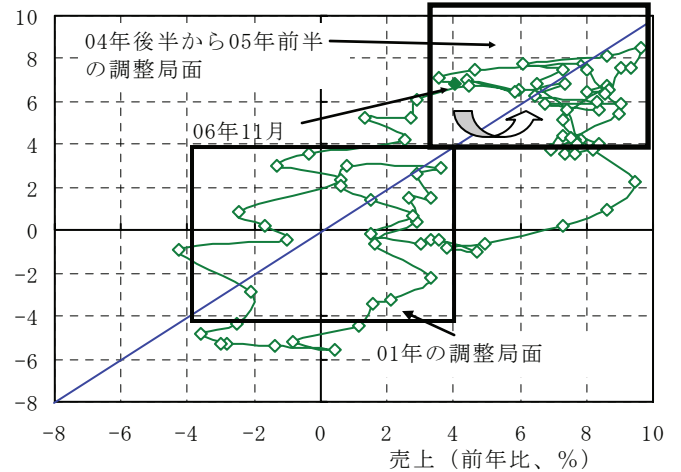
(出所) 商務省 (Department of Commerce)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(10億ドル) 業態別在庫の推移 (3ヶ月前差年率)



企業売上・在庫循環図 (月次)



小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
	除く車		自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.7	+2.7	+4.1	▲0.1	+0.7	+0.7	+1.2	+1.5
06/08	+0.0	(+6.3)	+0.1	▲0.2	▲0.3	+0.8	+0.0	▲0.1	▲0.2	▲1.2
06/09	▲0.6	(+5.5)	▲1.0	+0.2	+0.9	+0.3	+0.5	▲1.4	+2.9	▲9.8
06/10	▲0.2	(+4.7)	▲0.5	+0.2	+0.8	▲0.7	▲0.1	▲0.6	▲1.7	▲4.5
06/11	+0.6	(+4.6)	+0.7	+0.3	▲0.0	+0.1	+5.8	+0.8	▲0.7	+2.9
06/12	+0.9	(+5.4)	+1.0	+0.2	+0.3	+0.7	+3.0	+1.1	+0.6	+3.8

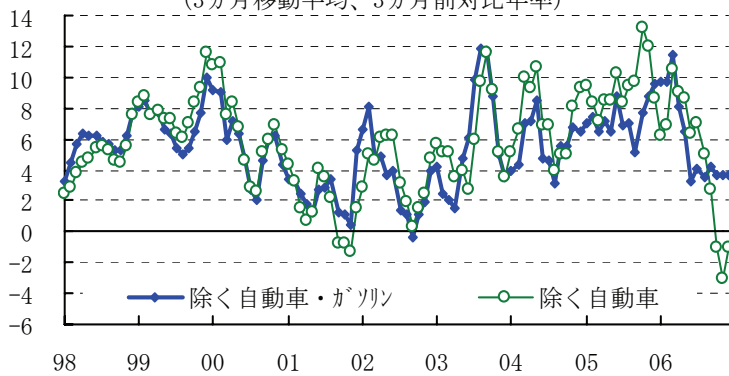
(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

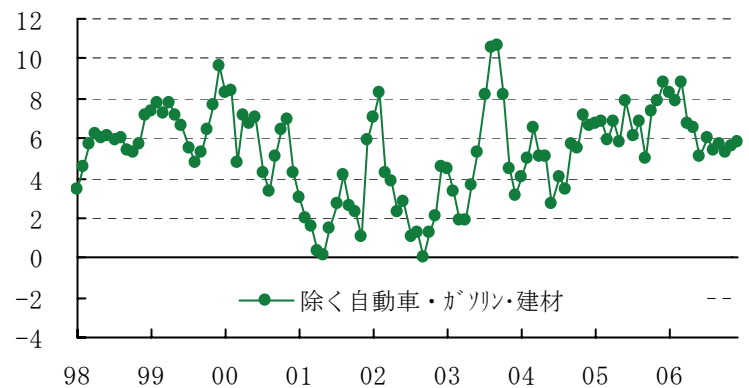
*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

(%) 小売・飲食サービス売上高 (3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率)



(出所) 米商務省

(%) 小売・飲食サービス売上高 (3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

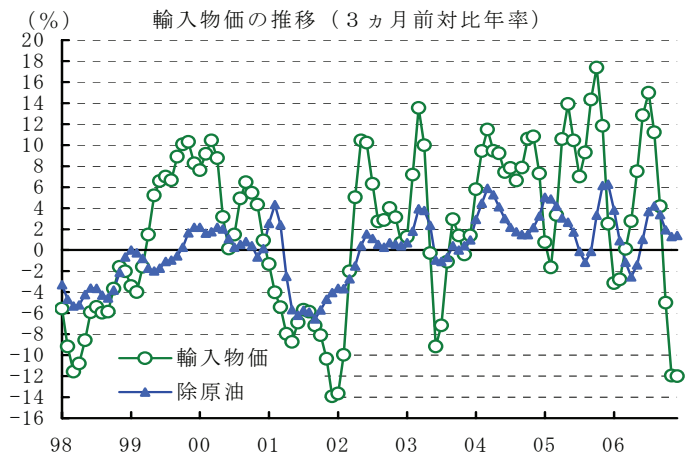
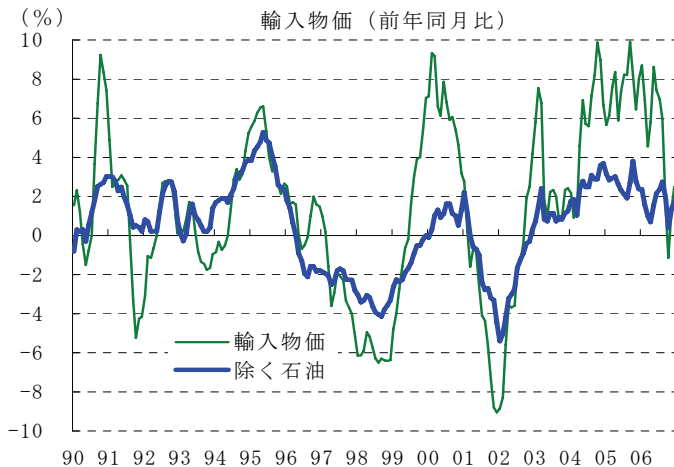
● 2月15日 (木)

- ・ **2月10日に終わった週の新規失業保険申請件数**は、気温の低下、スーパーボールの終了の影響で325千件と前週から増加が見込まれるが、雇用の拡大ペースの変化を示すものではない。
- ・ **1月の輸入物価指数**は、天然ガス価格が上昇したものの原油価格が下落したことから、前月比▲0.7%が予想される。消費財、資本財、自動車の輸入価格は引き続き競争環境のもと安定した推移が見込まれる。
- ・ **2月のNY連銀製造業景気指数**は、自動車部門での生産調整の影響により1月から低下が予想される。
- ・ **12月の対米証券投資**は、株高もあり株式市場への資金流入が増加したとみられるが債券市場への流入額の縮小によって593億ドルの資金流入と前月から鈍化すると見込まれる。
- ・ **1月の鉱工業生産**は、前月比横ばい。気温の低下に伴い公益の拡大が予想されるものの、鉱業・製造業での投入量が減少したこと、ISM製造業生産DIが縮小したことから横ばいとどまろう。この結果、設備稼働率は前月と同水準が見込まれる。
- ・ **バーナンキFRB議長が下院金融サービス委員会で証言**
FRBの見方が市場に浸透しており前日と同様の内容になる見込み。
- ・ **2月フィラデルフィア連銀製造業景況指数**は前月の大幅な上昇の後であり1月の8.3から低下が予想され、同地区製造業が緩やかな低下傾向を辿っていることが確認されよう。
- ・ **2月NAHB住宅市場指数**は販売の増加によって前月から上昇する見込み。
- ・ **セントルイス連銀総裁がネブラスカ州で講演**
1月31日のFOMC声明文に沿った発言が予想される。
- ・ **1月の北米BBレシオ**は受注の拡大から2ヶ月連続で1を上回ると見込まれる。

輸出入物価 (U.S. Import and Export Price Indexes)

	輸出入物価		輸入物価				実効ドルレート
	輸出物価	輸入物価	除石油	工業原料	石油	消費財	
06/01	+0.7	+1.2	+0.3	+3.3	+5.8	+0.2	▲1.4
06/02	+0.1	▲0.8	▲0.7	▲1.8	▲1.0	+0.1	+0.3
06/03	+0.2	▲0.1	▲0.3	▲0.2	+0.6	+0.0	+0.2
06/04	+0.7	+2.1	+0.1	+6.0	+11.3	▲0.1	▲0.7
06/05	+0.7	+1.8	+0.7	+4.8	+6.4	+0.0	▲2.2
06/06	+0.7	+0.1	+0.4	▲0.1	▲1.1	+0.2	+1.2
06/07	+0.4	+0.8	+0.0	+1.6	+3.6	+0.1	▲0.2
06/08	+0.4	+0.5	+0.5	+1.1	+1.0	+0.0	▲0.7
06/09	▲0.4	▲2.2	+0.1	▲5.8	▲11.0	+0.0	+0.1
06/10	▲0.3	▲2.6	▲0.6	▲7.0	▲10.8	+0.0	+0.3
06/11	+0.4	+0.5	+0.9	+1.2	▲1.2	+0.0	▲0.8
06/12	+0.7	+1.1	+0.4	+3.1	+4.8	+0.1	▲0.7
07/01							+0.8

(出所) 労働省 (Department of Labor)
(注) 未季調、前月比、%。実効レートはFRB算出ベース。



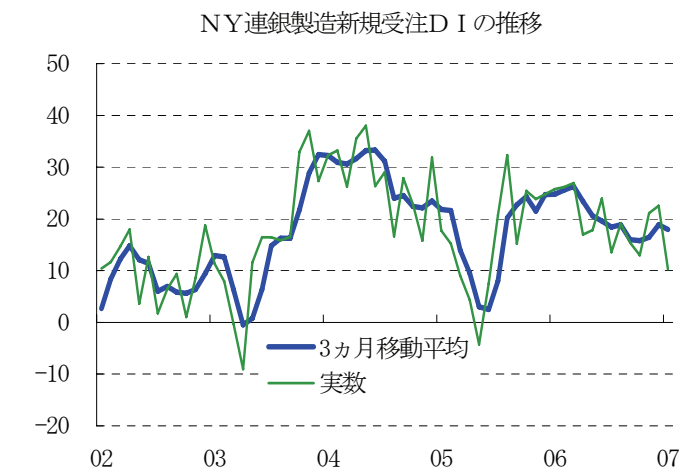
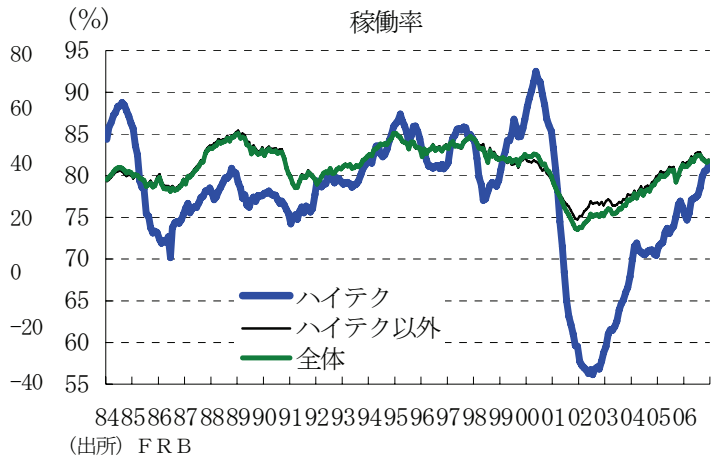
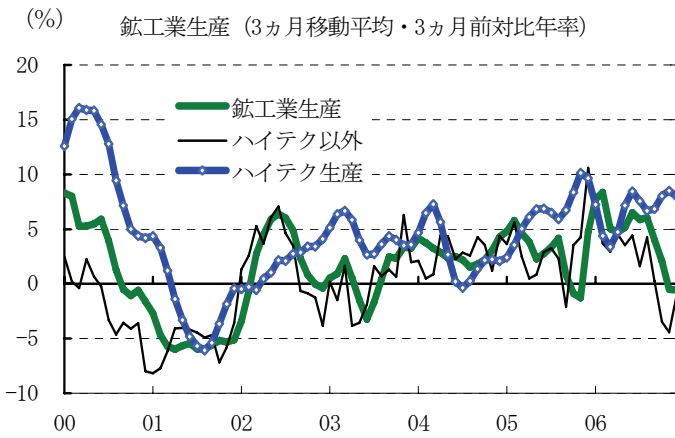
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

鉱工業生産 (Industrial Production and Capacity Utilization)

	鉱工業生産			製造業 (NAICS)			設備稼働率			生産能力	
	▲0.0	(+3.3)	+0.8	▲1.9	▲8.4	▲0.5	▲0.6	▲2.0	+81.1		+80.0
06/01	▲0.0	(+3.3)	+0.8	▲1.9	▲8.4	+0.5	▲0.6	▲2.0	+81.1	+80.0	+0.2
06/02	+0.3	(+3.0)	▲0.2	▲0.1	+5.1	+0.8	▲0.3	▲1.3	+81.1	+79.7	+0.2
06/03	+0.5	(+3.6)	+0.5	+0.1	+1.7	+2.7	+0.4	+1.4	+81.4	+79.8	+0.2
06/04	+0.9	(+4.5)	+1.0	+1.2	▲0.1	+3.6	+1.0	▲0.0	+81.9	+80.4	+0.2
06/05	▲0.1	(+4.0)	▲0.2	+0.9	+0.3	+1.8	▲0.5	▲1.7	+81.7	+80.1	+0.2
06/06	+0.9	(+4.3)	+0.9	+0.4	+1.6	+1.6	+0.6	+2.1	+82.3	+80.6	+0.2
06/07	+0.4	(+4.7)	+0.4	▲0.1	+1.2	+1.7	+0.3	▲4.1	+82.4	+80.8	+0.2
06/08	+0.2	(+4.6)	+0.4	▲1.1	+0.0	+2.5	+0.1	+1.9	+82.4	+80.9	+0.2
06/09	▲0.3	(+6.0)	▲0.0	+1.1	▲3.9	+3.1	▲0.4	▲1.3	+82.0	+80.7	+0.2
06/10	▲0.1	(+4.7)	▲0.8	+0.0	+4.6	+2.2	▲0.6	▲3.7	+81.8	+79.9	+0.2
06/11	▲0.1	(+3.5)	+0.0	▲0.4	+0.2	+1.7	▲0.1	+3.4	+81.6	+79.8	+0.2
06/12	+0.4	(+3.0)	+0.7	+0.8	▲2.6	+2.2	+0.5	+2.6	+81.8	+80.2	+0.2

(出所) FRB

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
06/05	27.91	23.93	27.11	4.75	-9.09	5.79	9.92	52.89	19.01	11.57
06/06	16.68	13.56	12.05	4.76	-12.84	4.59	0.92	50.46	16.51	5.50
06/07	14.11	19.06	16.83	7.06	-10.66	1.64	-1.64	44.26	14.75	13.93
06/08	15.40	15.37	21.05	13.28	-4.00	0.00	-3.00	41.00	16.00	23.00
06/09	15.40	15.37	21.05	13.28	-4.00	0.00	-3.00	41.00	16.00	23.00
06/10	21.19	12.94	22.91	20.06	2.50	-5.00	-3.33	30.83	17.50	14.17
06/11	25.00	21.10	26.96	23.85	3.77	4.72	0.00	34.90	16.98	10.38
06/12	22.19	22.52	27.60	18.60	-7.87	1.12	-14.61	28.09	13.48	7.87
07/01	9.13	10.26	16.11	6.91	-19.15	-5.32	-8.51	35.11	19.15	-1.06

NY連銀製造業景気指数（6ヵ月先予測）の推移

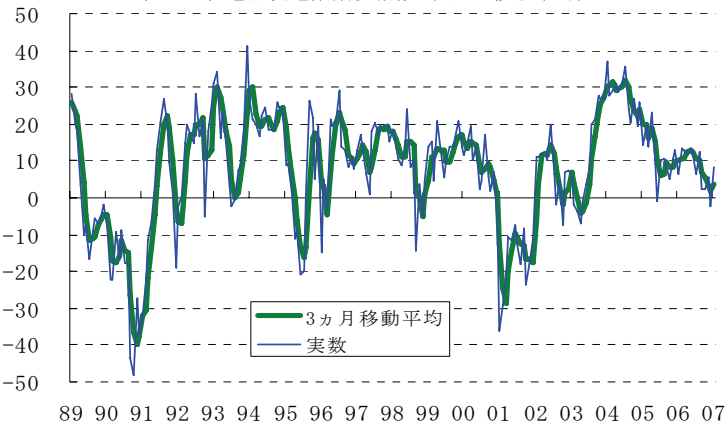
	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
06/05	31.37	37.15	33.22	21.63	-4.88	-0.81	5.65	59.35	36.90	8.83	32.52
06/06	33.42	35.30	32.23	16.13	-2.50	-1.67	3.28	62.50	38.63	4.72	20.00
06/07	42.55	42.94	41.98	18.74	-11.93	-1.83	5.76	60.55	41.15	7.40	22.02
06/08	37.31	37.39	37.24	20.75	-2.46	-9.02	-0.33	54.92	39.52	6.51	26.23
06/09	35.89	40.40	42.73	19.58	-9.00	-9.00	3.33	52.00	32.88	8.12	36.00
06/10	32.20	35.45	33.37	24.94	-1.68	-4.20	8.54	39.50	23.04	10.29	30.25
06/11	36.75	40.25	43.55	22.38	-4.72	-2.83	11.69	45.28	24.43	8.31	31.13
06/12	41.85	44.62	40.73	30.37	13.48	3.37	9.23	47.19	25.44	11.66	39.33
07/01	32.54	34.14	28.47	31.12	2.13	-1.06	-8.50	45.74	22.39	12.39	31.91

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

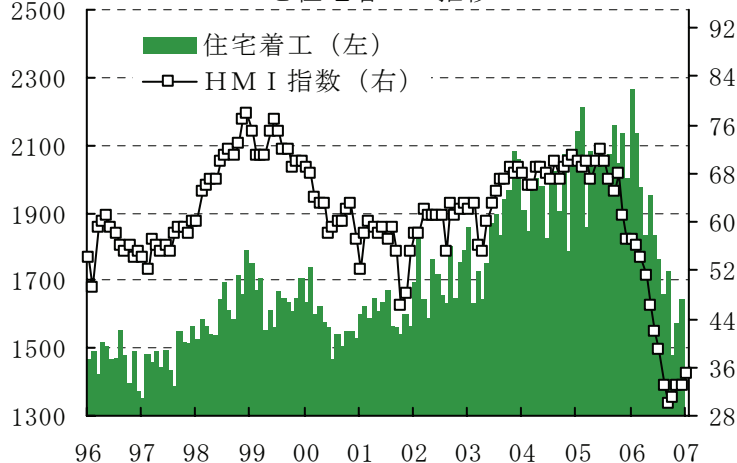
	現状 総合	6ヵ月先見通し 総合									
		新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	
06/01	6.4	11.5	19.5	6.6	11.8	7.8	0.3	20.3	40.2	▲ 19.9	29.5
06/02	13.2	12.9	23.5	9.3	10.5	6.6	10.0	18.0	32.3	▲ 14.3	28.5
06/03	12.9	21.1	23.2	11.6	7.0	2.5	4.0	15.7	22.5	▲ 6.8	18.7
06/04	11.7	12.0	17.7	▲ 9.7	16.3	▲ 2.9	5.6	15.1	30.4	▲ 15.3	26.1
06/05	13.6	3.5	14.0	▲ 5.3	2.9	9.0	▲ 2.8	11.3	53.9	▲ 42.6	22.2
06/06	12.1	17.2	18.3	▲ 3.5	8.2	0.2	▲ 0.7	16.0	49.3	▲ 33.3	9.6
06/07	6.5	9.9	10.7	0.5	11.7	▲ 1.3	▲ 6.5	17.6	49.5	▲ 31.9	15.2
06/08	12.6	12.8	20.3	6.8	8.1	1.4	▲ 2.0	17.3	46.6	▲ 29.3	6.9
06/09	2.3	0.2	▲ 4.4	4.7	10.3	0.0	▲ 3.8	20.0	37.8	▲ 17.8	2.5
06/10	2.3	10.7	6.1	10.9	10.4	▲ 4.8	▲ 10.5	17.2	32.7	▲ 15.5	16.9
06/11	5.4	▲ 1.1	7.8	5.3	3.0	1.8	▲ 5.5	7.4	25.2	▲ 17.8	9.1
06/12	▲ 2.3	▲ 0.9	14.0	▲ 0.9	7.5	▲ 4.9	▲ 18.6	8.9	19.0	▲ 10.1	5.4
07/01	8.3	1.3	23.9	0.4	7.9	▲ 7.1	▲ 15.4	11.6	11.9	▲ 0.3	22.4

(出所)フィラデルフィア連銀

フィラデルフィア連銀製造業景況指数（3ヵ月移動平均）

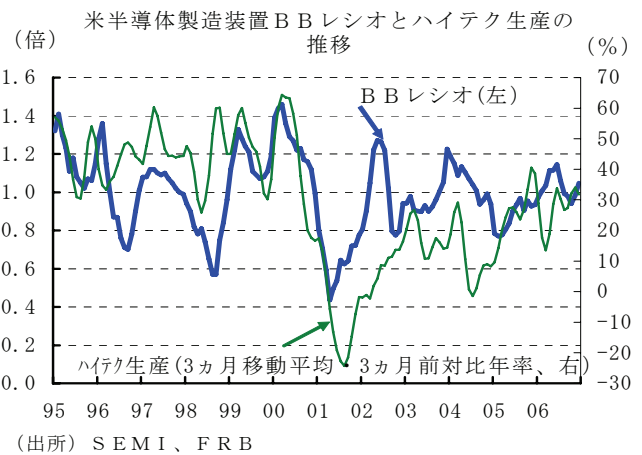
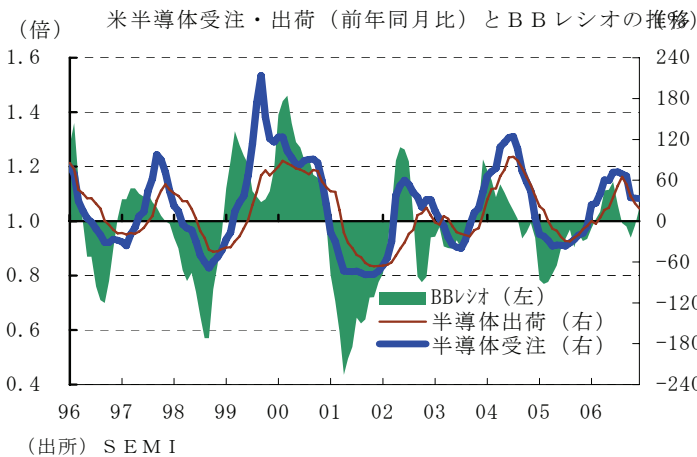


全米建設業者住宅市場指数（HMI）
（万戸）と住宅着工の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

		B B レシオ							
		半導体出荷			半導体受注			ハイテク生産	
			前月比	前年比		前月比	前年比		
06	0601	0.97	1259.4	2.9	0.1	1225.9	7.3	24.3	28.9
	0602	1.01	1283.3	1.9	-3.6	1293.2	5.5	26.3	17.6
	0603	1.03	1338.7	4.3	5.2	1385.3	7.1	40.2	13.5
	0604	1.11	1441.4	7.7	16.3	1604.4	15.8	60.6	19.0
	0605	1.11	1452.6	0.8	19.8	1619.0	0.9	59.5	28.6
	0606	1.14	1557.4	7.2	35.2	1782.3	10.1	71.7	33.7
	0607	1.06	1637.9	5.2	51.9	1734.6	-2.7	72.2	30.3
	0608	0.99	1742.8	6.4	65.1	1729.7	-0.3	69.2	26.7
	0609	0.98	1672.8	-4.0	53.7	1639.2	-5.2	66.6	27.3
	0610	0.94	1562.9	-6.6	36.4	1468.6	-10.4	34.3	32.0
	0611	0.98	1486.1	-4.9	26.0	1462.5	-0.4	33.8	34.0
	0612	1.05	1450.1	-2.4	18.5	1520.0	3.9	33.0	31.8



● 2月16日 (金)

- ・ 1月の生産者物価は、ガソリン価格の下落によって前月比▲0.4%が予想される。食品、エネルギーを除く生産者物価 (PPIコア) は自動車価格の鈍化、パソコンの下落を背景に同+0.2%と低い伸びが見込まれる。
- ・ 1月住宅着工件数は、12月の許可件数も増加したが、暖冬の影響を受けたと考えられること、依然在庫の水準が高いことから、減少すると予想される。1月中旬以降気温が低下した影響を受けるが1月前半は暖冬だったこともあり、小幅減少にとどまろう。
- ・ 2月ミシガン大消費者センチメント (速報値) は、雇用・所得の拡大、株高が続いたものの、前月の大幅な上昇の反動、エネルギー価格の上昇により前月から低下が見込まれる。

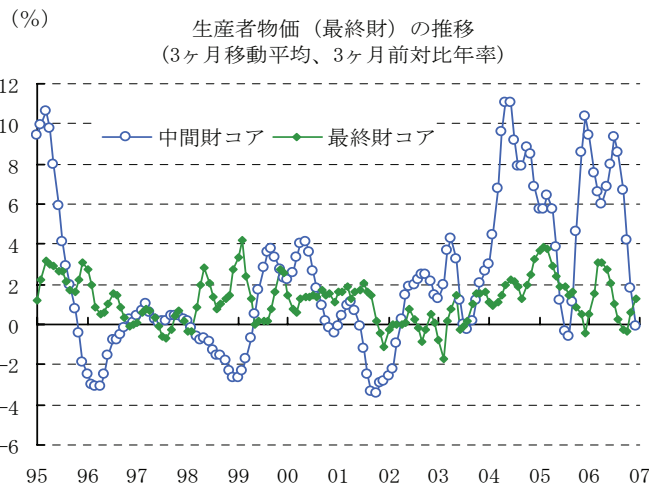
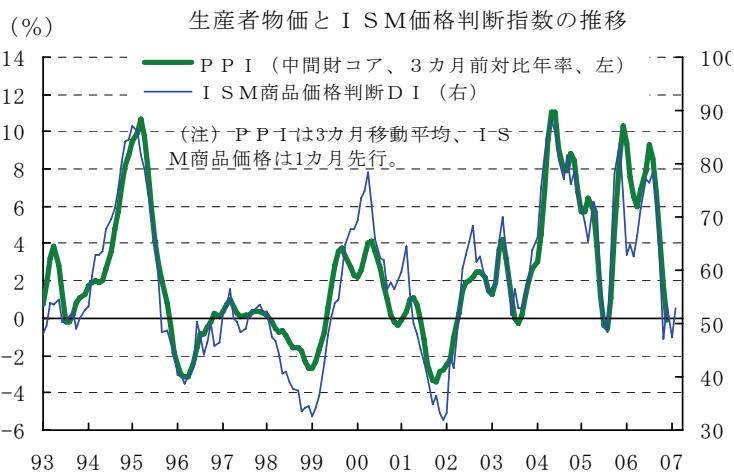
生産者物価 (Producer Price Indexes)

	最終財		コア		エネルギー		中間財		原材料		コア		WTI
06/01	+0.3	(+5.6)	+0.4	(+1.3)	+0.1	+1.0	+0.9	▲0.8	▲0.2	▲0.2		65.3	
06/02	▲1.2	(+3.9)	+0.3	(+1.7)	▲4.5	▲0.5	+0.3	▲8.1	+3.1	+1.3		61.9	
06/03	+0.4	(+3.6)	+0.2	(+1.7)	+1.5	+0.2	+0.4	▲2.5	+1.3	+5.3		63.0	
06/04	+0.9	(+4.1)	+0.1	(+1.5)	+4.0	+1.0	+0.6	+2.6	+9.2	+2.1		70.2	
06/05	+0.1	(+4.5)	+0.3	(+1.5)	+0.8	+1.1	+1.1	+2.1	+9.2	+2.1		71.0	
06/06	+0.6	(+4.9)	+0.1	(+1.7)	+1.2	+0.5	+0.7	▲2.8	▲0.8	+2.5		71.0	
06/07	▲0.1	(+4.0)	▲0.6	(+0.8)	+0.7	+0.3	+0.5	+2.5	+1.3	+2.6		74.4	
06/08	+0.4	(+3.8)	+0.4	(+1.2)	▲0.3	+0.5	+0.4	+2.6	▲3.9	+0.8		73.1	
06/09	▲1.4	(+0.9)	+0.3	(+1.2)	▲8.1	▲1.5	+0.1	▲3.4	+0.8	+15.6		63.9	
06/10	▲1.6	(▲1.6)	▲0.9	(+0.6)	▲5.0	▲1.1	+0.0	▲10.6	▲1.3	+0.5		59.1	
06/11	+2.0	(+0.9)	+1.3	(+1.8)	+6.1	+0.7	▲0.3	+15.6	+0.5	+1.0		59.4	
06/12	+0.9	(+1.1)	+0.2	(+2.0)	+2.5	+0.5	▲0.1	+2.6	+1.0			62.1	
07/01												54.7	

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



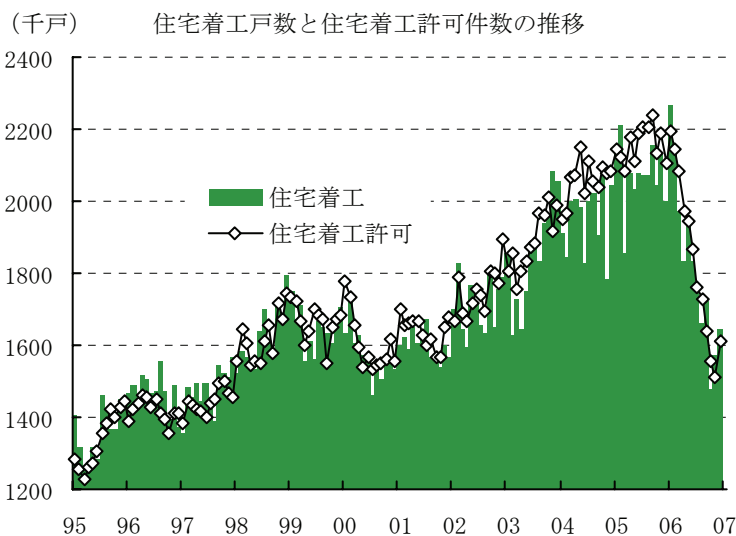
住宅着工・許可件数 (Housing Starts and Building Permits)

	住宅着工				北東部	中西部	南部	西部	住宅許可	モーゲージ金利	住宅市場指数
	一戸建て	2～4戸	5戸以上								
06/01	2265	1814	27	424	241	369	1136	519	2195	6.10	57
06/02	2132	1812	35	285	186	326	1038	582	2147	6.23	56
06/03	1972	1615	36	321	166	294	1023	489	2085	6.38	54
06/04	1832	1524	56	252	178	338	881	435	1973	6.54	51
06/05	1953	1587	51	315	198	294	950	511	1946	6.64	46
06/06	1833	1478	44	311	168	298	910	457	1869	6.72	42
06/07	1760	1445	83	232	148	293	889	430	1763	6.71	39
06/08	1659	1365	41	253	160	255	846	398	1727	6.41	33
06/09	1724	1393	29	302	137	269	938	380	1638	6.28	30
06/10	1478	1187	39	252	147	235	715	381	1553	6.30	31
06/11	1572	1282	22	268	156	225	844	347	1513	6.13	33
06/12	1642	1230	62	350	196	229	827	390	1613	6.12	33
07/01										6.21	35

(出所) 商務省、F R B

(注1) 住宅着工の正式分類は、1戸建、2戸建、3～4戸建、5戸建以上。

(注2) モーゲージ金利の出所は F R B。別統計。



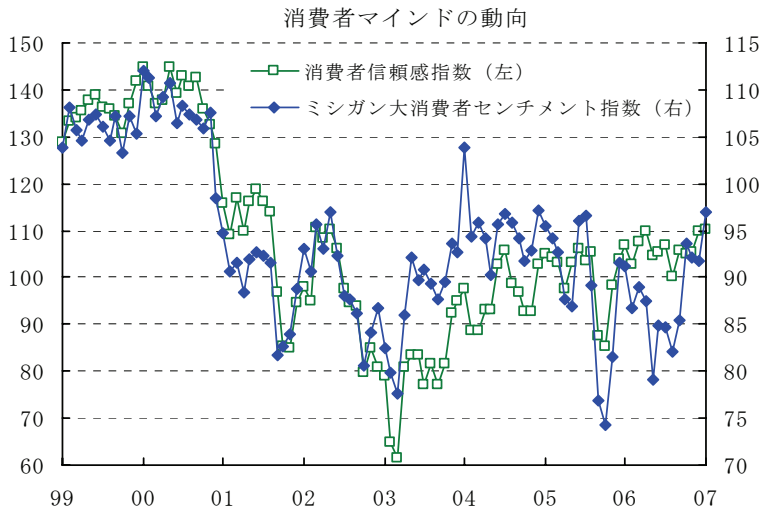
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

消費者信頼感 (Consumer Confidence)

	消費者信頼感指数									ミシガン大学消費マインド		
	期待指数	現状指数	雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		期待	現状		
			充分	困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅				
06/04	109.8	92.3	136.2	29.4	19.7	17.3	9.3	6.8	3.1	87.4	73.4	109.2
06/05	104.7	85.1	134.1	29.1	20.2	16.5	12.9	6.3	2.9	79.1	68.2	96.1
06/06	105.4	87.5	132.2	28.0	20.0	16.8	11.9	5.5	3.2	84.9	72.0	105.0
06/07	107.0	88.9	134.2	28.6	19.6	16.1	10.9	6.9	3.8	84.7	72.5	103.5
06/08	100.2	84.4	123.9	24.5	21.1	16.2	12.9	6.9	3.8	82.0	68.0	103.8
06/09	105.9	91.0	128.3	26.2	20.9	16.5	10.3	6.0	2.9	85.4	78.2	96.6
06/10	105.1	91.9	125.1	25.6	21.8	18.5	10.0	6.2	3.1	93.6	84.8	107.3
06/11	105.3	91.9	125.4	25.7	22.1	16.0	8.5	5.2	3.2	92.1	83.2	106.0
06/12	110.0	96.3	130.5	27.6	21.3	16.7	7.8	5.4	2.9	91.7	81.2	108.1
07/01	110.3	94.5	133.9	29.9	19.7	16.2	8.0	6.2	3.3	96.9	87.6	111.3

(出所) The Conference Board, University of Michigan

(注) 「雇用判断」、「半年後の景況感」、「購入計画」の単位は%で、全体に占める割合を指す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

＜日本・海外経済＞月間スケジュール (07年2月～4月) 2月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
28	29 12月商業販売統計(8:50)	30 12月労働力調査(8:30) 12月家計調査(8:30) 12月職業紹介状況(8:30) 12月鉱工業生産(8:50) 2年利付国債	31 12月毎月勤労統計(10:30)年平均同時公表 12月住宅着工統計(14:00) (米)10-12月期GDP(速) (米)FOMC (米)10-12月期雇用コスト指数 (米)1月シカゴPMI (米)12月建設支出 (欧)1月消費者物価(速) (フィリピン)10-12月期実質GDP	2/1 1月自動車販売(14:00) 1月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)12月個人所得・消費 (米)12月PCEデフレーター (米)12月中古住宅販売保留 (米)1月ISM製造業景況指数 (欧)1月製造業PMI	2 1月マネタリーベース(8:50) 12月家計消費状況調査(14:00) (米)1月自動車販売台数 (米)1月雇用統計 (米)12月製造業受注 (米)1月シカゴ大センチ(確)
4	5 (米)1月ISM非製造業景況指数	6 12月景気動向指数(14:00) 10年物価連動国債	7 (米)12月消費者信用残高	8 1月マネーサプライ(8:50) 1月貸出・資金吸収(8:50) 1月景気ウォッチャー(16:00) 5年利付国債 岩田日銀副総裁講演 春日銀審議委員講演 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	9 12月機械受注(8:50)
11	12 (米)1月財政収支	13 1月企業物価(8:50) 1月消費動向調査(14:00) (米)12月貿易収支 (欧)10-12月期実質GDP (独)10-12月期実質GDP (仏)10-12月期実質GDP (伊)10-12月期実質GDP	14 12月国際収支(8:50) 12月鉱工業指数・確(13:30) 12月商業販売統計・確(13:30) (米)1月小売売上高 (米)12月企業在庫 (米)バーナンキFRB議長議会証言	15 2月ロイター短観(8:30) 10-12月期GDP速報(8:50) 1月交易条件(8:50) 15年変動利付国債 (米)1月鉱工業生産 (米)1月輸入物価 (米)2月NY連銀製造業指数 (米)12月対米証券投資 (米)2月フィラ連銀指数 (米)2月NAHB住宅指数 (米)バーナンキFRB議長議会証言 (台湾)10-12月期実質GDP ※(インドネシア)10-12月期実質GDP	16 12月第3次産業活動指数(8:50) 12月毎月勤労統計・確(10:30) 年平均同時公表 12月景気動向指数改訂(14:00) 12月建設総合統計(14:00) (米)1月生産者物価 (米)1月住宅着工件数 (米)1月建設着工件数 (米)2月シカゴ大センチ(速)
18 (中国)春節 (24日まで)	19 ※(台湾)10-12月期実質GDP	20 1月コンビニエンスストア統計(16:00) 金融政策決定会合(～21日) ※2月月例経済報告	21 2月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)1月消費者物価 (米)1月景気先行指数	22 ※1月貿易統計(8:50) 20年利付国債 ※1月チェーンストア販売統計 (米)1月求人広告件数 ※(マレーシア)10-12月期実質GDP	23 12月全産業活動指数(8:50) 1月CSP(8:50) (独)2月ifo景況感指数
25 福井日銀総裁講演	26 金融政策決定会合議事要旨 (1月17・18日分)	27 2年利付国債 (米)1月耐久財受注 (米)1月中古住宅販売件数 (米)2月リッチモンド連銀指数	28 1月鉱工業生産(8:50) 1月商業販売統計(8:50) 1月住宅着工統計(14:00) (米)10-12月期実質GDP (米)2月シカゴPMI (米)1月新築住宅販売件数 (インド)10-12月期実質GDP (香港)10-12月期実質GDP	3/1 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)1月個人所得・消費 (米)2月ISM製造業指数 (米)1月PCEデフレーター (米)1月建設支出 (欧)2月製造業PMI (欧)2月消費者物価(速)	2 1月消費者物価・全(8:30) 2月消費者物価・都(8:30) 1月家計調査(8:30) 1月労働力調査(8:30) 1月職業紹介状況(8:30) 2月マネタリーベース(8:50) 1月毎月勤労統計(10:30) (米)2月シカゴ大センチ(確) (米)2月自動車販売台数

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

3月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
26 金融政策決定会合議事要旨 (1月17・18日分)	27 2年利付国債 (米)1月耐久財受注 (米)1月中古住宅販売件数 (米)2月リッチモンド連銀指数	28 1月鉱工業生産(8:50) 1月商業販売統計(8:50) 1月住宅着工統計(14:00) (米)10-12月期実質GDP (米)2月シカゴPMI (米)1月新築住宅販売件数 (インド)10-12月期実質GDP (香港)10-12月期実質GDP	3/1 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)1月個人所得・消費 (米)2月ISM製造業指数 (米)1月PCEデフレーター (米)1月建設支出 (欧)2月製造業PMI (欧)2月消費者物価(速)	2 1月消費者物価・全(8:30) 2月消費者物価・都(8:30) 1月家計調査(8:30) 1月労働力調査(8:30) 1月職業紹介状況(8:30) 2月マネタリーベース(8:50) 1月毎月勤労統計(10:30) (米)2月シカゴ大センチ(確) (米)2月自動車販売台数
5 10~12月期法人企業統計 (8:50) (米)2月ISM非製造業景況指数 (タイ)10-12月期実質GDP	6 1月消費状況調査(14:00) (米)1月中古住宅販売保留 (米)1月製造業受注	7 1月景気動向指数(14:00) (米)ベージュブック (米)1月消費者信用残高	8 2月マネーサプライ(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 2月景気ウォッチャー 5年利付国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	9 1月機械受注(8:50) (米)1月貿易収支 (米)2月雇用統計
12 10~12月期GDP2次速報 (8:50) 1月国際収支(8:50) 2月企業物価(8:50) 2月消費動向調査(14:00) (米)2月財政収支	13 (米)2月小売売上高 (米)1月企業在庫	14 2月交易条件(8:50) 1月鉱工業指数・確(13:30) 1月商業販売統計・確(13:30) (米)2月輸入物価指数	15 20年利付国債 (米)2月生産者物価 (米)3月NY連銀製造業景気指数 (米)1月対米証券投資 (米)3月フィラ連銀指数	16 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月建設総合統計(14:00) 1月景気動向指数改訂(14:00) (米)2月消費者物価 (米)2月鉱工業生産 (米)3月シカゴ大センチ(速)
19 3月ロイター短観(8:30) 金融政策決定会合(~20日) ※3月月例経済報告 (米)3月NAHB住宅指数	20 3月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 2月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)2月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数	21 (米)FOMC	22 1~3月法人企業景気予測調査 (8:50) ※2月貿易統計(8:50) ※2月チェーンストア販売統計 (米)2月景気先行指数	23 1月全産業活動指数(8:50) 10~12月期資金循環(8:50) 2年利付国債 ※公示地価 (米)2月中古住宅販売件数
26 金融政策決定会合議事要旨 (2月20・21日分) (米)2月新築住宅販売件数	27 2月CSPI(8:50) (米)3月リッチモンド連銀指数 (独)3月Ifo景況感指数	28 (米)2月耐久財受注	29 2月商業販売統計(8:50) (米)10-12月期実質GDP(確定値) (米)2月求人広告件数	30 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月労働力調査(8:30) 2月職業紹介状況(8:30) 2月鉱工業指数(8:50) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)2月個人所得・消費 (米)2月PCEデフレーター (米)3月シカゴPMI (米)2月建設支出 (米)3月シカゴ大センチ(確) (欧)3月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4/2 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) (米)3月ISM製造業指数 (欧)3月製造業PMI	3 3月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) 2月消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)2月中古住宅販売保留	4 (米)3月自動車販売台数 (米)2月製造業受注 (米)3月ISM非製造業指数	5 10年物価連動国債 (英)BOE金融政策委員会	6 (米)3月雇用統計
9 ※2月景気動向指数(14:00) 金融政策決定会合(～10日)	10 ※2月機械受注(8:50) 4月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)	11 2月国際収支(8:50) 3月マネーサプライ(8:50) 3月貸出・資金吸収(8:50)	12 3月企業物価(8:50) 5年利付国債 (米)3月輸入物価 (米)3月財政収支 (欧)ECB理事会	13 2月商業販売統計・確(13:30) (米)3月生産者物価 (米)2月貿易収支 (米)4月シカン大センテ(速)
16 3月交易条件(8:50) 2月鉱工業指数・確(13:30) (米)3月小売売上高 (米)4月NY連銀製造業指数 (米)2月対米証券投資 (米)2月企業在庫 (米)4月NAHB住宅市場指数	17 ※2月景気動向指数改訂 (14:00) 2月建設総合統計(14:00) 3月消費動向調査(14:00) 30年利付国債 (米)3月消費者物価 (米)3月住宅着工件数 (米)3月建設許可件数 (米)3月鉱工業生産 ※(中国)1-3月期実質GDP	18 2月毎月勤労統計・確(10:30)	19 4月ロイター短観(8:30) 2月第3次産業活動指数(8:50) (米)3月景気先行指数 (米)4月フィリピン連銀指数	20 2月全産業活動指数(8:50) 3月コンビニエンスストア統計(16:00)
23 ※3月貿易統計(8:50) ※3月チェーンストア販売統計 ※(韓国)1-3月期実質GDP	24 3月CSP(8:50) 20年利付国債 ※企業行動に関するアンケート 調査 (米)4月リッチメント連銀指数 (米)3月中古住宅販売件数 ※(独)4月Ifo景況感指数	25 ※4月主要銀行貸出アンケート 調査(8:50) (米)3月耐久財受注 (米)3月新築住宅販売件数 (英)1-3月期実質GDP	26 2年利付国債 (米)3月求人広告件数	27 ※3月労働力調査(8:30) 3月鉱工業指数(8:50) 3月商業販売統計(8:50) ※3月住宅着工統計(14:00) 4月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 ※4月月例経済報告 (米)1-3月期実質GDP(改定 値) (米)1-3月期雇用コスト指数 (米)4月シカン大センテ(確)
30 (米)3月個人所得・消費 (米)4月シカゴPMI (米)3月建設支出 (欧)4月消費者物価(速)	5/1 (米)3月中古住宅販売保留 (米)4月ISM製造業指数	2 (米)4月自動車販売台数総計 (米)3月製造業受注	3 (米)4月ISM非製造業指数	4 (米)4月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。